

卒業式で校歌斉唱します！今年で校歌は100歳です。

明日から3年生は自由登校となります(ただし毎週月曜日は登校日)。今年の3年生は、高校生活はコロナ禍に始まりました。いろいろと辛い3年間だったと思います。実はこの3年間で校歌を斉唱したことは一度もありませんでした。米商に限らず日本中の高校生が一度も校歌を歌うことがなかったことが殆どです。しかし、現在のところ5月8日から新型コロナ対応は2類から5類へと変わります。そして、山形県としてもこの卒業式から「マスクをしての校歌斉唱を認める」ことになりました。米商の校歌が一番好きだという人は多いです。卒業生はもちろんですが、何校も経験をしてきた先生方も「米商の校歌が一番」という人がいます。私もそうです。自分の母校や勤務校を考えても間違いなく米商の校歌が一番良いと思っています。特に卒業してから何年も経った時に聞く校歌は涙が出る時すらあります。校歌練習などできませんが、令和4年に山形県立米沢商業高校に集った仲間と、最初で最後の校歌を歌いましょう。その為に校歌についての豆知識です！

＜校歌～雲に横たふ＞

作詞は須藤栄吉氏。須藤氏は本校の英語教諭でした。創立二十周年の意義深い年に、渋谷校長より作詞を依頼されて、校歌の制定に没頭したという記録が残っています。故郷の山河に至誠と進取の校訓を託し、四季のうつろいを叙し、謙信、鷹山二公の遺風を顕彰し、人間性の深奥に呼び掛けて商業教育に志向する若者に対して、世界に向かい高い目標を望んでいけという内容になっています。



作曲は米沢市出身の大沼哲氏。同氏はフランスに留学し作曲と指揮法を学び主席で卒業。帰国後は軍楽隊において指揮・作曲・教育にあたった。特筆すべきは校歌作曲の二年後に大正天皇のご要望により「奉祝前奏曲」を献上していることです。また、全国選抜高等学校野球大会(春の選抜)の大会歌「陽は舞いおどる甲子園」の作曲もされ、同曲は第六十四回大会(1992年)まで使われていました。素晴らしい方々に校歌は作られたのです。校歌は「雲に横たふ」という名であります。この校歌を本校旧職員の故五十嵐昭男先生が、ご自身の解釈で述べておられます。これが素晴らしい！



一番 (自然との対峙＝母校の位置と環境)

雲の間に雄大に横たわる吾妻の峰々

その吾妻を源とし悠々と流れる松川

これは本校の校訓「至誠・進取」を象徴するものである

この自然と対峙している母校こそ若き青春の心の拠り所である

二番 (郷土の伝統＝米沢の歴史の背景)

霞立ち花薫る舞鶴城跡に立つと

藩祖謙信公以来の雄々しき上杉武士の精神と

中興の名君鷹山公の教えが永遠に受け継がれていることがわかる

この伝統の日となり月となって我々の歩む道を明らかにしてくれる



吾妻の山々

三番（未来への示唆・待望）

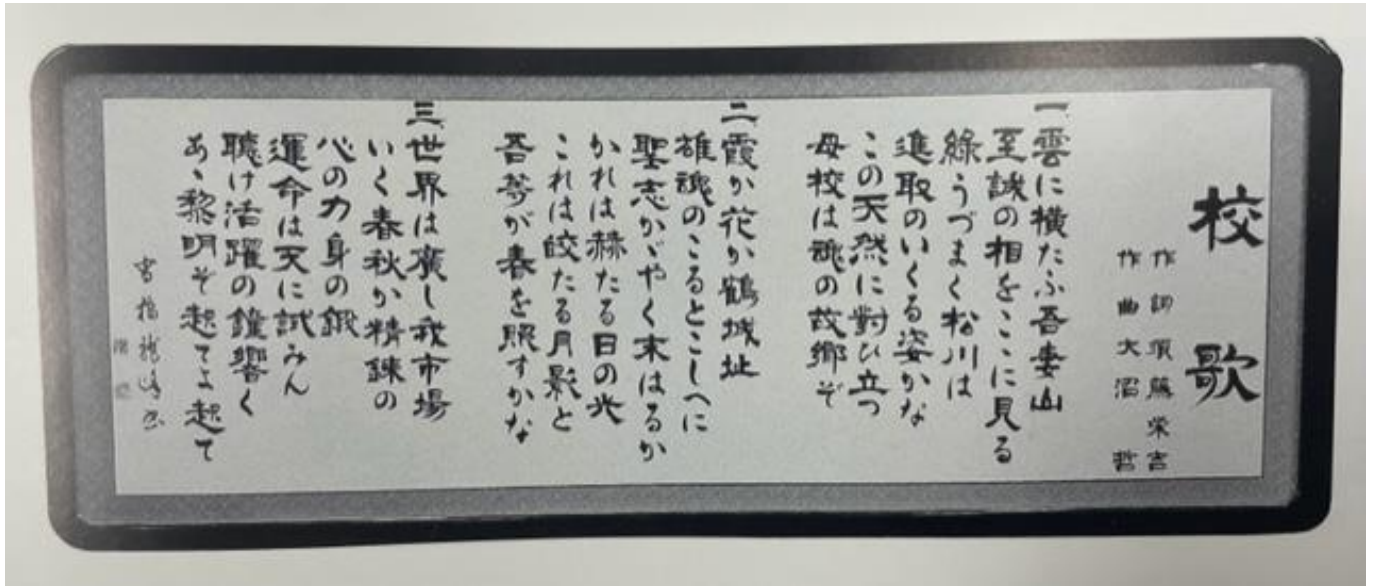
商業人たる者広く世界を市場として飛び立て

米商で鍛え培われた能力を最大限に発揮すれば天も味方になってくれるだろう

世界は君たちを待っている

今こそ新しい時代の始まりだ米商健児の腕の見せどころである

素晴らしい校歌です。なお、体育館に掲げてある校歌は複写したものであり、現物は至誠会館にあります。そして歌詞を書いちゃったのは書道の高橋悦子先生のご主人で本校職員であった故高橋国昭先生です。



3年生の過ごし方

2月1日より自由登校です。この時期に一番心配なのは交通事故です。毎年、必ず、日本のどこかで、高校3年生の交通死亡事故が起きます。殆どの高校は卒業まで例え免許を取得したとしても運転を禁じています。でもどうしても運転したくなります、そうすると隠れて、ダメなことだと分かっているけども運転する人がいるのです。そして何故だか分かりませんが、そういう人が事故を起こしてしまうのです。医学の進歩等により日本人の平均寿命は延び続けています。しかし、若者の交通事故はあまり変わりません。くれぐれも注意してください！

ちなみに私は高校卒業後の春休みに、友人と三人でその年に発売された「青春18きっぷ」で約1週間の旅をしてきました。無謀で無計画な旅でした。思いついたのは出発二日前くらいです。赤湯⇒新潟⇒金沢⇒京都⇒鳥取⇒神奈川⇒茨城⇒仙台⇒赤湯。泊まりは全て寝袋で駅構内。今はできないと思います。あまりにも寒くて眠れない時もありました。なんとなく高校を卒業して大人になっていくんだとその旅を通して実感した気がしました。いずれにしても安心・安全で充実した過ごし方をしてください！

米商スケッチ

・米商には様々な才能を持っている人がいます。2年遠藤萌花さんは5年前に日本建設業連合会が主催する「未来の土木コンテスト」で最優秀賞を受賞して、宇宙飛行士の毛利衛さんから表彰されました。そして、なんと今年のコンテストの表彰プレゼンターに選ばれ、東京での受賞式に臨みました。ちなみに受賞作は「遊びと笑顔で発電公園」というもので、子供が遊ぶことで発電する公園です。これは実際に「チーム遠藤」という土木エンジニアにより発電が行われたそうです。凄いですね。

・今週は推薦入学者選抜です。米商はなんと県内最高倍率でした。とても誇らしいことだと思います。多くの中学生が、活躍する米商生の姿に憧れ志願してくれたのです。これから中学生から選んでもらえる学校を目指しましょう！